

所蔵企画展 歳時記 風薫る夏

期間：2024年4月13日(土)－7月7日(日)

※会期中、一部展示替えがあります。

前期：4/13(土)～5/26(日) 後期：5/28(火)～7/7(日)



田淵俊夫《明日香栢森》メナード美術館蔵
制作年：1976年 形質：紙本彩色 サイズ：130×163cm

※展覧会の会期、内容等が変更になることがあります。
※最新の情報はメナード美術館ホームページをご確認ください。

柔らかな緑に水しぶきが立ち、爽やかな川のせせらぎが響いてくるような初夏の光景です。

かやのもり

栢森は、奈良県明日香村を流れる飛鳥川の上流地域に位置します。飛鳥川は古代より聖徳太子や万葉の歌人も訪れたといわれています。画家・田淵俊夫は、この歴史ある清流を前に、かつて聖徳太子らはどのような気持ちでこの川を眺めたのか考えたと言っています。そのうちに「自分なりの解釈で風景画による歴史画を描いてみよう」と思い立ち、本作が生まれました。時代を経ても変わらずそこに在る自然とその場所に残る歴史に思いを馳せた、画家30代の頃の新たな挑戦の作品です。

会期中のお得な割引「リピート割」

本展の入館済みチケットの提示で、会期中2回目以降の入館料が半額になります！

一般 1,000円→500円 高大生 600円→300円

小中生 300円→150円

*割引はご本人様のみ *割引の併用はできません

*入館時に「リピート割」とお知らせください

2/13

緊急時の連携体制を確認



ふれあいの森などで、消防署と市民病院のドクターカー、愛知医科大学病院のドクターヘリコプターの合同訓練が行われました。

訓練は「ハイキングをしていた男性が滑落して動けなくなり、通報内容から医師の現場派遣が必要と判断し、ドクターカーとドクターヘリコプターの出動を要請する」という想定で行われました。

当日は要救助者がどこにいるのか知らされていない状態で訓練が開始され、森の中を捜索し、本番さながらの緊迫感で救助にあたっていました。

Photo
News



2/13

日常生活の足を支える最新技術



小牧山南麓ガイダンスエリアで、自動運転実証調査事業の出発式を行いました。

自動運転実証調査は、懸念される路線バスの運転手不足に対応するため、自動運転について情報収集や分析などを行い、導入の検証を進めることを目的として行ったものです。

2月26日までの14日間の実証調査では、延べ1,696人が自動運転車両に乗車しました。

詳しくはこちら▶

